

外客協第83号
2023年10月18日

東京都知事
小池百合子 殿

一般社団法人 日本外航客船協会
会 長 遠 藤 弘 之

日本外航客船協会 要望書

拝 啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の事業活動に対しまして、格別のご高配、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の外航クルーズ産業は、新型コロナウイルス感染症の影響を著しく受けました。各船が長期にわたり運航を停止し、中には事業の清算を余儀なくされた事業者もおりました。

しかし、今年5月に政府が新型コロナウイルス感染症の法的位置づけを変更して以降は、日本人の観光需要も戻りつつあり、わが国の外航クルーズ産業にも再興の兆しが見えてきております。

つきましては、この機会に東京港においても再興を後押しいただきたく、各種事項を下記のとおり要望いたします。格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 インセンティブ制度及び客船誘致促進補助制度の継続及び拡大

運航費に占める割合の高い、港湾利用に係るコストを削減することは、船会社にとって重要な課題の一つとなっていることから、クルーズ客船の寄港促進に向けたインセンティブ制度および客船誘致促進補助制度を継続していただきたく存じます。

また、現行制度は日本籍船に対する減免額及び補助要件が、外国籍船に比べ厳しく設定されていますが、日本籍船と外国籍船が同じ条件下で市場競争できるよう、日本籍船への減免額及び補助対象の拡大を要望いたします。

2 新型コロナウイルス感染症の影響からの脱却

新型コロナウイルス感染症の影響から早期に脱却できるよう、クルーズ産業の再興に向けたPRへの協力を要望いたします。

3 複数バース体制の確保

東京港においては、他船と予約日が重複し、希望する日の予約を取りづらい状況にあることから、海外主要港や国内他港と同様に、複数バース体制の確保が必要と考えます。このため、現在着工中の晴海客船ターミナルの跡地における客船受入施設の早期整備や、東京国際クルーズターミナルにおける2バース目整備を要望いたします。

敬 具